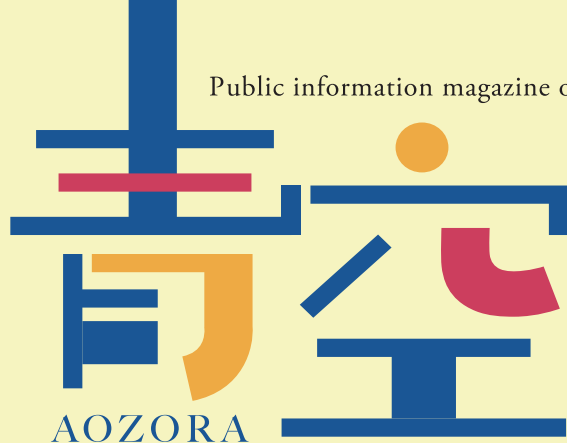




やさしい心で
良質な医療を

夏号

vol.85

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2026年(令和8年)7月発行
<https://yoshida-gene-hospi.jp>

病院長の挨拶

広島県厚生農業協同組合連合会
吉田総合病院 田代裕尊



はじめまして、この4月より病院長を拝命致しました田代裕尊と申します。私は主に腹部の外科を専門にし、特に肝臓の外科診療に今まで従事して参りましたが、今後は総合病院の運営を担う立場であり、地域住民の健康と職員の雇用を考えますと責任の重みで身が引き締まる思いでございます。

当院は安芸高田市唯一の総合病院で、開設以来地域の基幹病院として、地域住民の方の生活と健康を守るべく地域医療に貢献して参りましたが、ここ2～3年テレビ・新聞報道にありますように全国的に病院経営は厳しくなり、当院の経営も全国的な流れと同じ状況です。病院経営の悪化の要因として、病院収入以上に物価・人件費高騰などによる支出の増加が挙げられます。収入は診療行為に対する保険点数で定められています。定期的な見直しにより増額されていますが、その診療行為が他院より優れていても増額になることはなく一定しています。一方、支出は物価や人件費が経時的に増加し、さらに医薬品や医療機器に対する消費税も診療報酬の中から支払い、構造的に収支が厳しくなるようになっていきます。本年度の診療報酬改定によってある程度は改善が見込まれますが厳しい病院経営が続きそうです。医は仁術であり、当然儲けすぎてはいけませんが、安定的な経営基盤があつてこそ初めて持続的に地域医療が行えます。また医療行為を担う看護師などの人材の慢性的な不足も大きな要因です。中山間地域においては、多くの業種において働き手が慢性的に不足しているように当院においても厳しい状況です。そのため、病院の規模も縮小せざる負えなくなっています。

このような厳しい状況でございますが、地域住民の健康と生活を守るべく救急医療を含め総合病院としての機能は継続していかなければなりませんので、皆様にはご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

職場紹介

地域とともに歩む4階病棟

4階病棟 藤田 さやか

4階病棟は地域の急性期医療を担う55床の病棟です。主な診療科は、外科、内科、泌尿器科、脳外科、皮膚科、婦人科、耳鼻科と多岐にわたり、この度新たに整形外科疾患の一部受け入れを開始しました。急性期から回復期まで切れ目のない支援を行っています。入院される患者さんの多くは手術や急性期の治療を必要とする方々です。病態の変化に迅速に対応する判断力と、チームワークが求められる病棟です。日々の実践においては、術後の疼痛管理をはじめ、早期離床に向けたリハビリ支援、せん妄予防などの看護を実践し、合併症の予防と早期回復に努めています。

4階病棟が果たす役割は主に3つあります。

- ① スムーズに入院を受け入れること
- ② 安全・安心して療養して頂ける環境を提供すること
- ③ 治療を終えた後もその人らしく地域で生活できるよう支援すること です。

4階病棟への入院は7～8割は緊急入院であり24時間受け入れをしています。その多くの患者さんは突然の病気の治療や手術が必要となるため、とても不安を抱かれると思います。また、特に高齢の患者さんにおいては、急な環境の変化や身体の不調が引き金となり、せん妄を起こしやすく入院がとても怖い体験と感じてしまう可能性が少なくありません。こうした患者さんの心理や状況を私達医療従事者が十分に理解し、患者さんやご家族の不安に寄り添い、安心して治療に取り組めるようサポートすることが私達の使命です。

病棟には看護師32名、看護補助者10名、クラーク1名が在籍し、医師・薬剤師・栄養士・理学療法士、社会福祉士など多職種、さらには地域の医療機関や介護施設とも連携して、退院後も安心して生活できるよう支援しています。また、患者さんやご家族が「4階で入院治療して良かった」と思って頂けるような、温かい看護の提供を目指しています。急性期ならではの忙しさや緊張感がありますが、スタッフ同士が声を掛け合い、困った時は自然と手が伸びる元氣のあるチームです。新しい変化を柔軟に受け入れ挑戦する風土があり、日々学びながら共に成長し続けていけるよう取り組んでいきたいと思っています。患者さんやご家族の笑顔は何よりも大切にしながら、「病気の回復」と「その後の生活」を同時に支える地域の拠点として、これからも患者さんに寄り添い、地域に根ざし信頼される病棟となるよう、チーム一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。





新任医師紹介



	整形外科
	井上 万紀子
	4月よりJA吉田総合病院で勤務することとなりました、整形外科の井上万紀子と申します。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。
	趣味: スノーボード

	連携室(内科医師)
	杉野 健太
	2年ぶりに戻ってくることができました。再びJA吉田総合病院で働けることを大変嬉しく思います。寄り添う医療をモットーに日々精進しますので、どうぞよろしくお願いいたします。
	趣味: 剣道

	整形外科
	池田 祥太
	整形外科の池田祥太と申します。未熟ではございますが、日々の診療と研鑽を大切に、患者さんに寄り添った医療を提供できるように努めてまいります。また地域医療に貢献するという意識を忘れずに診療に励んでまいります。
	趣味: テニス・登山

	連携室(内科医師)
	藤井 樹
	医師4年目の藤井樹と申します。昨年度は1年間安佐市民病院に勤務していました。レジリエンスの高い医師になれるよう精進します。至らぬ点多々あるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。
	趣味: マラソン・ジム 快眠グッズ集め

	外科
	永尾 陵
	外科4年目で微力ではありますが、安芸高田市の地域医療に少しでも貢献できるよう努めてまいります。
	趣味: バスケ・NBA

	麻酔科
	仁井内 浩
	2026年3月31日で広島大学病院を退職して吉田総合病院に参りました仁井内です。地域の手術医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。
	趣味: カーブ、サンフレッチェの観戦 特技: 英会話

	精神科
	池田 駿
	こころホスピタル草津から参りました池田駿と申します。地域の精神医療に貢献できるように努めてまいります。
	趣味: 登山・温泉巡り





計算・会計時の呼び出し方法が変わります

2026年5月中旬より、お名前ではなく『番号』によりお呼び出しをします

「新患受付・総合案内」と「各診療科外来」での呼び出しは
今まで通りお名前でお呼びします

新しい会計の流れ

※処方箋を会計前にお渡しすることはできません。

1 ファイルの提出

診察終了後、案内票の入ったクリアファイルを
計算窓口へ提出してください。



2 整理券の発行

引き換えに、「番号」と「QRコード」が印字された
整理券をお渡しします。
※以降は番号での呼び出し
※1患者につき1整理券



3 番号で呼び出し

大型モニターへの表示と音声ガイダンスで番号
をお呼びします。
※自動精算機をご利用の方についても、一度
会計へ整理券をお渡しください。



4 会計で本人確認

間違い防止のため、お名前をフルネームで
お聞きします。
生年月日も一緒にお聞きしています。



✓ スマートフォンでも呼び出し状況を確認できます

整理券のQRコードを読み取ると、現在の呼び出し状況を確認できます。

- 医事課前の混雑を避け、車や院内の離れた場所でお待ちいただけます。
- ご自身の順番が近づくまで、時間を有効にお使いいただけます。



患者さんへのお願いと注意点

呼び出しについて

お支払いが可能となってお呼びする以外にも、ご本人等への確認事項などでお呼びする場合があります。
ご家族分についても別々に整理券でお呼びします。

整理券の保管

会計時に必要となりますので、お手元に大切に保管してください。
会計時に回収いたします。

順番の前後について

お呼び出しの順番は、

- 保険証や公費の確認
- 各診療科へ問い合わせが必要とき
- 診療内容や追加伝票が発生したとき
- お支払いの有無

などにより
整理券の順番とは前後する場合があります。

暑さ・脱水にご注意ください



気温や湿度が高くなる時期は、熱中症や脱水症状による体調不良が増加します。

特に高齢の方や小さなお子さまは、のどの渇きを感じにくく、

気づかぬうちに脱水が進むことがあります。

JA吉田総合病院では、地域の皆さまが安心して夏を過ごせるよう、

熱中症・脱水予防を呼びかけ、一人ひとりの予防が、重症化防止につながります。

暑さ対策を心がけ、この夏を元気に乗り切りましょう。

